明治廿八年六月五日印刷
明治廿八年六月七日發行

# 婦人衛生雜誌

第六十七號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第六拾七號
目次

講演

●懷妊中の有樣　醫學士　增田知正君
●婦人巡視員　醫學博士　中濱東一郎君

衛生叢談

●征清戰爭に死せる我兵士の數
●男女体格平均調
●暹羅國の虎列剌
●今年の疫病如何
●各地の虎列剌
●看護婦養成の數
●肺病患者最も多し
●喇叭の害（小兒の注意）
●天然氷倉庫の封鎖
●臨時陸軍撿疫塲の設置
●大日本私立衛生會の實地調查
●解傭人夫病院の現况
●臺灣熱豫防方法
●大日本婦人衛生會景况
●廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第六拾六號
目次

講演

●學齡兒に就ての衛生談　醫學博士　長田弘君
●生理學講義　醫學士　坪井次郎君

衛生叢談

●傳染病研究所の參觀
●虎列剌豫防の告示
●澎湖島虎病の原因
●虎列剌病に對する注意
●大日本婦人衛生會景况
●同會懇親會景况
●廣告數件

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第六拾七號

（明治二十八年六月七日發行）

## 講演

### ◉懷妊中の有樣（四月四日於華族會館開 婦人衛生會例會）

醫學士 増田知正君演說

今日は總裁の宮殿下を始め皆樣方の御健康なる御尊容に接しまして、此席に於て久々にて御話を致しまするは、誠に光榮の至りに存じます。

そこで私は今日茲に掲げてあります通り「妊娠中の有樣」と云ふ題で御話を致しましやうと思ひますか。實はなんぞ有益なる面白い、大へん御聽き榮のあるやうな御話をいたさうと云ふ考へでありましたが、さて是れといふ好い考へもつきませんでしたから、餘り御耳新らしい事でも御座いませぬが、思ひ當つた儘斯樣な演題で、おはなしを致す積りでございます。併ながら懷妊中の有樣と云ふだけでは其意味甚だ漠然として居るやうでありますが、これは細かく云ひますると懷妊中に於る母体の有樣と胎兒の狀態との兩樣を含めて御話をいたし、終りに妊娠中の養生法をも加へて述べやうと思ひます。

偖て懷妊と云ふことは如何なる事を申しまするか、是れは私が眞面目になつて御話を致す迄もなく、既に皆樣能く御承知の事と思ひますが、此の懷妊と云ふことに就て、最も必要なるは何で有るかと申しまするに婦人の身体の方のみでいふと卵巢より出まする卵と卵を宿しまする子宮との此の二のものでございます卵巢と卵と云ふ語が出ま

## 懷妊中の有様



したから、序でに卵巣はドウ云ふものか、卵とは如何やうなるものかと云ふことの概略を一寸御話し致して置ゐた方が宜しいと考へますが、是れを充分御了解の出來るやうに御話をするには、ドウしても婦人生殖器の全体に就て御話をしなければ解りませぬが然し夫では餘り冗長に渉りまする嫌ひも御座りまするし又た左なくとも貴婦人方の前で御話しを致すには自然甚だ恐れ入りまする廉も御座りますから他の部分は畧しまして只必要の點のみを摘んでザット御話しを致すつもりで御座います。

婦人生殖器の機能の大要は、内に兒を胎すことができて、而して其胎兒を或一定の時を經過したる後。外界に送り出すことをする。則ち人類繁殖に最も必要ある器械で有ります。けれども此器械の内殊に必要なる部分はなにかと云ふに、則ち子宮と卵巣の二つで有ます卵巣は卵を拵へまする處。子宮は胚胎したる卵をやどす處而して此の卵巣と子宮との間の機道を致すものは即ち之を喇叭管と申します此は此處にて卵の胚胎の媒介を致し又は胚胎したる卵を子宮内に向て輸送するの作用を持て居りまするソレで卵は初め卵巣の中に、ドンな風になつて這入つて居るかと云ふに、卵巣の中には後に完全なる卵に成るべきものが、既に女性を受けて此世に生れた時分、即ち後には立派な奥様となつて盛に生殖機能を營まるべき御婦人のまだ赤兒の時分から其の芽となつて含まれて居る。併ながら唯未た時期が來ないので、完全した一の卵にはならないで居るので有ます。而して此の女兒の身体が漸々發育成長して或一定の時に達します

ると其卵巣の中に含まれて居る一つの小さき卵の芽即ち小胞か漸次成熟して、終に人間の元素とも云ふべき卵と云ふものができるやうな風に成て來るので有ります此の卵巣の中の卵に成るべき小さき胞は、時を經るに從つて成熟しますものですが、其中に立派な胚胎をすることの出來るやうな所謂成熟卵に成るまでには、一定の時が入用であります。而して此の立派に成熟した卵はまた一の嚢の中に含まれて居るもので有りまして此成熟した卵を含たる嚢をグラーフ氏胞と申します而して此の十分に成熟したるグラーフ氏胞は一定の時に至ると或る一定の作用で破裂をする、サウすると中に在る卵がそれと同時に卵巣の外に飛び出すことができる。其機能を醫學の術語で排卵機と申ます此排卵機は、御婦人方が妙齢にあつて發する處の月經と甚だ大なる關係を以て居るので有ります則ち月經の時には排卵機があるので、排卵機のときには月經が現はれる。併し又時には月經と排卵機と別々に時を違へて來ることもありますが先づ多數は殆ど同時に來るやうに見える。ソレで排卵機に因つて出た卵が即ち或る事柄に出逢て胚胎をするので此の胚胎した卵がすなはち子宮の内に止まつて、一月二月と漸々月日を重ねて、竟に完全した子どもができるのであります。其の卵の胚胎の時の狀体は甚た複雜したる者にて中〳〵面倒でありますから、詳しく御話をした處がお覺へにもなりますまいし、又お話をするとした處が差當り左程の必要もないと考へますから此はまづ畧して置きまして、唯胚胎した卵がドウ云ふ風にあつて變し行くものですかその順序を御話いたします。

## 懐妊中の有様

人の卵は排卵期の際飛出す時見ますると其の大さは殆んど罌粟子ぐらゐしか無いものですが之を能く撿査しますると大小の差こそ有りますれど大体の有様は恰も皆様の常に御用ゐになりまする鶏の卵と比べて大なる差はない。御承知の通り鶏の卵は卵黄と蛋白とで成立つて居るが、その卵黄を熟く御覧になると、一つの小なる斑點即ち芽と成るべき小點が有る。人の卵もソレと略ぼ同じ様になつて居ります。此卵がすなはち或作用で胚胎する、サウすると、自然の妙能で以て忽ち澤山の細胞に分れその分れた細胞は一定の順序に從て並列して若干の層を爲しそれが順々變化して外の方の層が膜となり内の方には人間になるべき部分が自然に別れます。デ一週二週と時を經るに從つて、胎兒の身体は次第〳〵に形作て參り膜の内部には水が溜り此水の中に胎兒は浮游して居るのであります而して膜の一部には胎盤が出來胎兒と胎盤との間には臍帶といふ紐の如きものが出來夫にて胎兒を繋いで置ます元來胎盤は胎兒の營養物となるべき血液を製造し直す處にて丁度大人の心臓と肺臓との二の作用を兼て致し居るものにて臍帶は其の血液の送還する役目を受持て居る者であります去れば胎兒は胎盤臍帶等の助で養はれて居るもので有ますする斯く致して初め卵が胚胎したときから、四週間位迄の發育の狀態と云ふものは、餘程面倒でなか〳〵御解りになるまいと思ひますから是れは故意と略して置きまして、其卵が一ヶ月二ヶ月と育つて往くのはドウ云ふ狀体で有るかと云ふことを左に御話しやうと思ひます

皆様も熟く御存知の通り、三世相などを開いて觀

ると中々奇妙な面白い事が書て有ますもので、胎兒が一ヶ月になると、錫杖の形を寫して、不動明王が之を預り守護し給ひ。二ヶ月になると、獨鈷の形をして、釋迦如來が預りて護り居られ。三ヶ月になると、三鈷の形をして文珠菩薩が護て居り四ヶ月になると、五鈷の形をして、普賢菩薩が之を守り。五ヶ月に至りて、始めて人の形を成し、地藏菩薩が之を預り給ふと申します。ソレから六ヶ月七ヶ月とだん／＼十ヶ月の末迄には或は觀世音或は阿彌陀如來と云ふやうな、難有い佛樣たちが特に御出張になり各交代して胎兒を護つて下さると云ふやうに書いてありますが然し段々聞て見ますと此は實は佛道の方にて諭を設けて云つて置た事で有るソウでして實の處は錫杖の形も獨鈷の形もして居る譯の者では無いソーです俗て

妊娠第一ヶ月には卵がドウ云ふ形になるかと云ふに——間で一寸御斷りを致して置ますが私の卵と云ふのは、外の卵膜胎盤と、内に這入つて居る胎兒羊水臍帶等を總括て之を卵といふのであります、故に胎兒といふ語が出たら中の胎兒のみのとにて卵といふ語が出たならば胎兒も胎盤も卵膜も皆總括たと御察し下され——即ち三週間までは斯樣な形になつて居る（圖に據つて示さる）處が第四週間即ち滿一ヶ月の末になると、卵の大きさが鳩の卵位ゐになりまして其内の胎兒はまだ／＼極く小さく、恰も後前ふくらんで中央の括れた甕の樣な物が水に浮いて居るやうの有樣であつて其長さ僅かに二分五厘程しかない而して其形狀は恰も蟻のやうであります。御承知の通り蟻は頭とお尻とが大きくつて、胴が細れて居る。矢張り此の時

分の胎兒も蟻の身体の如く、頭も胴も大きい、併し其時分には無論手も足も無い、唯頭の部分と胴の部分とがあるばかりで羊水の中にふわ〳〵して居る。

第二ヶ月の末即ち第八週間になると、卵の大きさは、鷄の卵位ゐで、胎兒の大きさは八九分ぐらゐで御座います。(實物を御覧下さい)而して眼の處には黑く點が見へてあり而して鼻の形も出來て居り、四肢の形も備つて居ります。併し未だ男女の別は解りませぬ。

第三ヶ月になると卵の全體の大きさが鵞鳥の卵位ゐになりまして、其内に這入つて居る胎兒は、その丈二寸六七分乃至三寸位ゐの大きさになつて居りまして此時には既に手も足もできて居り、ソレのみならず指までも具つて居る、又眼鼻耳口とも全く具備し顔の形狀判然として居ます然れども男女の姓は解らぬ、併し生殖器の形は具つて居るのであります。

第四ヶ月になると、胎兒の大きさが五寸位ゐで最早此時には男女の姓も明かに區別されて居ります而して全体には毳毛のやうなものが生えかゝつて來まするし。又其時分には胎内に於て胎兒が動き始めて參ります。

第五ヶ月になると、胎兒の大さは八寸位ゐになります。(ソレも實物に就て御覧を願ひます)其時分には胎兒の運動は妊婦自ら之を感し又御腹に手を當てゝ見ると中でビク〳〵動くのが能く分ります夫のみならず醫師が用ゐる器械で聽診器といふ物が有ますが之を御腹に當てゝ聽くと胎兒の心臓の作用く音が判然と聽かれます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六ヶ月になると、胎兒の大きさが一尺程になりまして。體は大へんに赤く、指の先きには爪が生えて居つて全身には總て毳毛が澤山に生えて居ります、ソして皮膚の下には脂肪が追々と殖えて參りますが。併し未だ充分でないから、皮膚には皺が寄つて居ります。丁度其時分(六ヶ月)頃に何ゾ偶然の出來事で、若し御産があると、其生れた小兒と云ふものは、手足を動して空氣を吸ふやうな運動はしますが、併し眞個に呼吸の作用は出來ませぬ故、無論暫くにして生命は亡くなつて仕まいます。

第七ヶ月になると胎兒の身の丈が一尺一寸位ゐになつて居る、其時分には瞼が離れて、眼を開く事ができます。皮膚は大へんに赤く、而してからだには丁度豆腐滓みたやうな脂肪の凝固物が附着て居る、而して皮膚には矢張り皺が寄つて居ります。此時分に偶然生れますると、呼吸するのみならず、啼き聲を發します。併し極く低くして勢のない悲しい聲であります。余程大切に手當をしても、數時間若くは一二日間位ゐで死んで仕舞ひます。

第八ヶ月になると胎兒の長は一尺三寸位ゐの大きさになりまして、皮膚はまだ中〳〵赤く、而して未だ瘦せて居りますから、皺などがよつて居る、殊に顏にも皺がありまするから、此時分に生れた赤兒は恰も老人の如き容貌をして居ります。此時分に生れましても、よく手當をしますると、生を保つて育つ事が出來ます。昔は七ヶ月子は育つが八ヶ月子は育たぬと云つて居りましたが、全く反對です。七ヶ月子は迚も育ちませぬが、八ヶ月子は余程大切に手當をすれば、隨分育つもので御座

います。

第九ヶ月にあると、胎兒の身の丈は一尺四五寸位ゐに迄伸び筋肉も能く肥へ、皮膚の下には脂肪が澤山增して來ます故皺などは皆消失てしまひ顔はむつくりと圓みがつきまして、誠に愛らしい容貌と成て居ります。

第十ヶ月即臨月の末にあると、胎兒の丈は一尺六寸程あります則ち最早充分に成熟して居りまして、自然に生れるときで有ります。此時分には筋肉骨格等皆夫々能く發育致して居りまして頭の毛など黑〳〵と六七分位にまで延び鼻も耳も其の形狀えつかりと致し手足の爪は延びて、指の先きぐらゐまで達して居ります、無論からだから手足までまる〳〵として居ります。産れると直にパッチリ眼を開き高く初聲を擧て啼きまた胎糞をしたり尿を出したり致します。此時には前に述べた豆腐の滓のやうなものは減じて澤山附いて居らぬやうになります。ソレで胎兒が胎内に於て、發育する一ヶ月から十ヶ月までの經過の有樣は大畧かくの如きものであります。

偖て此赤兒は胎内に在るうちはドンな風にあつて居るかと云ふに、乃ち首を下げて頤を胸に附け、両手を組み腕を胸に當て、足を折り上腿は腹部に附いて居る而して下脚が上腿に附いて居つて、足の先きは下腿について居りまする。而して三ヶ月四ヶ月五ヶ月位ゐの間は無論まだ羊水も割合に多くつて、胎兒もいろ〳〵に動き易き狀体になつて居りまして、逆さにあり、或は横縱にある事も有りますが、併し五六ヶ月以後になると、初めて妊娠した人は尚更既に大抵位置が据つて、頭部は

下の方に在りて、お尻の方が上を向ひて居る而して生れる時には頭から先きに出て來る。通例は此の頭を下でれ尻が上になつて居るのが常態ですが、時として逆さに生れ出ることが有ります。此の頭が上でお尻の方から產れ出る時には之を逆產と申します。

以上述べましたのは通常普通の有様、即ち人を一人胎したときのお話でありますが、場合によると一人以上胎すことがあります、即ち双胎、品胎、要胎又は五胎などの胎ることがありますが、併しソレは甚だ稀なることであります。ソレで普通の產、即ち單胎では、一個の卵が胚胎して、ソレが子どもになるのであるが、二人乃至三人一時に胎るのはドウして出來る者かと云ふに、此事に就ては昔から種々研究をしていろ〳〵理屈が附いて居りますが、今日の處で考へて見ますると、双胎と云ふのは二つの卵が同時に胚胎を致しますると、二人の子どもが出來る者に相違ない即ち先刻御話を致しました彼のグラーフ氏胞の内に時によると平常と異て卵が二個一所に這入つて居ることがあります、ソレが破裂すると二つが同時に飛び出して同時に胚胎をするソーするとそれが双胎となります又一歩進めて詳しく穿鑿を致して見まするに卵に芽斑が二つ附いて居るとがある。一個の卵には一つの芽斑の附いて居るのが本來であるのに、二つ附いて居る事が有ると其の一つ〳〵が各胚胎致しますが故に即ち双胎となりますサウこう云ふこともできまするし又ソレから一つの卵に芽斑は一つ丈しか無つても其か胚胎して後眞二ッに分裂してそれで双胎となることがあるこれも即ち双理

屈の一つで有ます、又能く考へると右の卵巢から出た卵と左の卵巣から出た卵と同時に二つの胎が胚胎をすることもある譯て御座います。又日を隔て丶二個の卵が胚胎して双胎となることもありますこういふ時には生れた二人の赤兒を看るに、一人は大きく一人は小さい身体を致して居ります。然し假令同時に胚胎をした者と雖も時によつて發育の度が同じに往かないで、一方が遲れ爲に少し小形となるといふ樣なことがあるかも知れませぬが、多くの場合には先きに胚胎したのは大きく後のは小さいと云ふことは先づ信しられる理屈と考へます。ソン故品胎要胎五胎などになる譯も双胎發生の理から割り出すと直きに御了解になる筈です即ち一個のグラーフ氏胞中に卵が二個あると二人出來るがその内の一個の方の卵に芽斑が二個あるか又は芽斑が分裂するとソラ都合三人となる譯で有ります又或は右卵巣の方から二個の卵が胚胎をして居るのに左卵巣の方から亦一つ卵が出で來て是がまた胚胎するとコレも又三人の子が出來る譯で御座ります要胎なども矢張り同樣の理屈で推して考へ出す事が出來ます即ち左卵巣で成熟したグラーフ氏胞中に二個の卵あり又右卵巣で成熟したグラーフ氏胞中に二個の卵ありて是れが同時に胚胎すると都合四人一時に出來る理屈です五胎などもコウいふ理屈で推して行くと其の出來方は直に御解りのとと存します實際双胎品胎などの出來る譯はこういふ工合で行くので有りまして即ち一寸その推理の筋道を御話し致し置で御座ります。ソレで其數は凡ソどんな樣子であるかと云ふに、大抵双胎は八十九の産の中に一ッ位ゐの割合、品

胎は七千九百十の御産の中に三つ位、要胎は三十七万千百二十六の産の中に一つ、五つ子は三百万の産の中に一つの比例に當て居ります。ソレ故双胎はとき〴〵見ますが三つ子以上は容易に見ることが出來ないのでございます。即ち是れまで述べました事柄は、胎兒に就ての御話で有りますが。次に母体の妊娠中の有様を御話し致しましやう。

（嗣出）

## ◉婦人巡視員

（七月七日於富士見倶樂部開婦人衛生會例會）

醫學博士　中濱東一郎君演説

我婦人衛生會に於ては從來、種々の事業を御施しになりましたし又將來御催しになることもあらん就ては御參考までに昨年英吉利の婦人衛生會で企てました事業の報告を得ましたから、其事を烏渡申上げ樣と思ひます。

夫は何かと云ふに、英吉利の婦人衛生會の貴婦人方が企てられまして、下等の貧民が居住致して居りまする家屋を巡視された事で有ります。之を觀て私は、遉が英吉利は衛生の事に注意の行屆いた國柄で有ると云ふ事に、殆ど感服を致します。何故貧窮の者の住ッて居る家を巡視するのが大層の利益であるかと云ふに、總べて國の東西を論せず、國民の大多數は貧窮人から成立ッて居る。丁度唯今鈴木君が貧民の景況の一部を御述べになッた通り、實に貧困者の中には意想外の事が有ります。ソレ故世の中に貧困の人をば救助すると云ふのは、一國の經濟上から申しても、亦一体の國の健康上から申しても、最も大切の事で有ります。社會の主なる部分支屬して居りまする貧窮人が、

最も大切の財産と致しまするものは、何かと云ふに、則ち健康の身體で有ります。貧困者は世の中に何も資とするものは無いので、自分の健康なる身体が唯一の財産、此健康なる身體を朝から晩まで遣ひまして、父母を養ひ妻子を養育致します。然るに若しも一朝此者が病氣に罹るときは、自身の病氣を療治することが出來ないばかりでなく、忽ち一家族が饑渴に迫る樣な事が往々有ります。右の次第で有りますから、若しも貧困者の戸主が病氣に罹ッた時には、其病氣の治療も出來、他の家族も饑渴に迫る事の無い樣にするのが、貧民救助の最も大切なる所以で有ります。又傳染病の流行は何時でも貧困の人の澤山に居る處から始ッて、四方に傳播し、遂に中等以上の間にまで病毒を波及します。虎列剌の時でも、實扶埵里亞の時でも發疹窒扶斯の流行の時でも、多くは先づ貧困者に病氣を發し、漸次に蔓延して參りまするから一方には貧窮人の病氣の治療も行屆く樣に致し、一方には貧窮人に發したる傳染病の撲滅法を普く行はしむる樣にしたならば、單に貧困の人ばかりでなく、一般に廣く社會の傳染病豫防法も行渡り且つ衛生上の進歩も之に伴ふて參ります譯故、貧民救助と云ふ事は、極めて大切の事で有ると思ひます。ソレ故に、貧民救助の事は政府の事業とし、或は又町村に於て公共の事業として、ソレ〳〵着手しては居りますが、惜い哉日本では未だ歐米諸國の如く充分には行屆きませぬ。併ながら追々に捗んでは參りませうと思ひます。英吉利西獨逸邊では、特別に貧民を救助する醫師が出來て居ります、是れは貧困者を治療せしむる爲めに相當の給

料を以て雇ッて置くので、貧民が病氣に罹ッたときは、遠慮なく無代で此醫師の治療を受ける事が出來る様になッて居ッて、大層に貧民が幸福を得て居るので御座います。

扨衛生事業の擧ると擧らないとは、一般人民が此事に注意すると否とに因て分れるので御座います併ながら注意といつた處が唯書いたものを印刷して配布した處が、人々が碌々讀んで呉れもせず、亦假令讀んでも之を實際に行うと云ふ事は六ケ敷い。中には又、一向ドウ云ふ事が書いてあるか讀めない者も澤山に在り、讀んでも何の事か理解致しませぬものも多數に在ります。ソレ故最も効能の有るのは目の前にて、直接に指示すのが一番宜しいので御座います。日本でも隨分傳染病の流行する時、例之ば昨年九州に於ける赤痢の流行の如く、人民が稍もすれば病氣を隱蔽する、自分の家に病毒即ち病人が有ると、忽ち社會に害を及ぼすと云ふ事を知りながら兎角に蔽したがる。けれども役場の人が參り醫師が參つて斯う云ふ時には斯う云ふ事をしなければならむと云つて、面前で藥の効能を說き、又病毒を撲滅する方法を敎へると、其次に往つて見ると、能く其敎へ通りにして居る事を見受けます。書いたものを配布するよりは、面前で指示した方が多く利益が有るので御座います、ソコで獨逸英吉利西邊では平日でも役場員なり、警察の巡查なりが巡視を致しまする事が行はれて居ります。ソレには又ソレ〳〵の規定が有りまして、各自に受持が極ッて居る、例之ば神田區には何人日本橋區には何人の巡視員を置くと云ふ樣に、人員も定りをり、亦巡視する處も定ッて居

りまして、立派な家、注意の届く家は巡視の必要を見ません、たゞ下等人種の住つて居る處を緊要といたします故に其場所をば兼て帳面に附けて置き今日は何處の家に往かう、翌日は何邊に往かうと云ふ様に貧民部落を巡回して、臺所から下水其他不潔の場所へは何處にでも這入り込みまして、一々撿査をして、若しも惡い處が有つたら斯う云ふ處は惡いから、斯う〳〵云ふ風にしなければならぬ、少し費用は懸けても斯く〳〵の良い事が有ると、一ッ〳〵家族に指示し、歸ッた上は自分の長官に其事を陳べる。サウすると余り棄て置き難いと云ふ場合には其後更に巡視員を遣りまして、豫て申し付けた通りに行ッたか如何かと云ふ事を實撿して、若しも命令に背きました時は、[illegible]裁判所に訴へて迄も衛生の本旨を貫くと云ふことになッて居ます。英吉利西は彼の如く自由を尊び、『私の家は私の城郭なり』と云ふて、一歩でも他人の立ち入る事を許さぬと云ふやうに、非常に權利を尊んで居る國で有りながら、衛生の事は飽くまで干渉して、法律上の制裁を設けても遣る處まで遣らなければならむと云ふ事を、人民が理解して居るから、己れの家は即ち己れの城郭なりと云ふにも拘らず、衛生の巡視員には苦情なく、家を見回る事を許します、多少苦情が有ッたにせよ、政府に於ても一向頓着せずずん〳〵實行しますから、此事業が益々擴張して參ります。

日本でも巡視の事は隨分行はれて居りますが、英國などの如く能く行屆く譯には往きませぬ。譬へ[illegible]は先程申した赤痢の流行した時には、役場の人、或は醫師が家毎に參ッて容子を視る。元より貧民

部落の事故家に病人が居れば、直ぐに解る、ドウしても蔽し通す事は出來ませぬから、直ぐに屆け出なければならぬ。サウすれば醫師が病人の手當も爲し、又家の内の消毒等も致されまして、豫防上最も都合の好い事で有ります。東京に於きましては、警視廳で巡視を致しますが、是れは家屋の巡視では無い、商業上の巡視で御座います。例之ば牛乳と云ふものは、餘程贋造し易いもので有りまして、又實際水を入れましたり、或は米の磨ぎ汁を入れられても少しも解らない。又病牛の乳なぞを販賣すると云ふ危險が有ります。ソコで警視廳では乳牛の檢査をして、若しも病牛であれば、乳を搾る事を禁じます。又乳牛の檢査ばかりでなく、販賣して居る乳、若くは市中を歩行て居る牛乳屋をも時々巡査が呼び止めて調べて居ります。其外石炭油を販賣して居る處に就て檢査をし少しでも惡い石炭油は破裂するから、破裂の恐れの無い樣に發火點を檢査します。其他夏になりますると、氷の檢査、氷の室の檢査、或は市街の角に出て居りまする氷水屋に巡査とか、或は衞生に關係をして居る役員を出して、若し惡いものがあれば其販賣を差止める樣になッて居ります。畢竟英吉利の巡視法は、日本の巡視を一層擴張したもので有ッて、學校の巡視、貧民家屋の巡視は勿論、下宿屋木賃宿に至るまで、巡視員を派出して巡視して居ります。横濱はドウかと云ふに、外國人の居留地、英吉利人なり獨逸人なりで横濱に居留して居ります者は御互に申合せて巡視員を設け、不潔な家を巡視して一々檢査を遂げ、改良しなければならぬ處、若くは惡い處は一々帳面に附け、一

方は戸主に言ひ渡し、是れをば早く改良しなければならむ、早く掃除をしなければならむと云ふ事を申附け、一方は取締の長とも云ふべき人に書附を以て此事を示し、而して又申附け通りに修復したかドウかと云ふ事を檢査して居ります。衛生の事を充分に行うには到底書附ばかりでは往けないなか〳〵坐つて居つて書附だけを廻し是れで充分だと安心をして居ると大間違い、直接に申附けなければ迚も効能を見ることは、出來ません

英國の「リバプール」府は人口五十万程在る處にて隨分不潔なる市街で有りました。ドウして不潔なのかと云ふに、「リバプール」には種々の製造所が在りますので、從つて多くの職工が住つて居ります。最早四十年前の昔、「リバプール」に七万程の職工が穴藏或は一つも窓の設なく晝でも燈火を點じなければならむ樣な暗室に住つて居りました。是れは實に日本人の考へでは、ソンな家が有らう乎と思ふ位ゐで人に話しても信用が少ないが、實際私はサウ云ふ家を視て參つた、是等の家は窓が一つも無い爲めに無論光線が這入りませぬので暗夜でも天氣晴朗の日でも、晝夜燈火の斷える間は無いので有ります。併し幸に、日本では如何なる貧民でも西洋の樣な家に這入つて居る者は殆ど無いので、此點は誠に結構で有ります。私が伯林に參りました時下宿して居りました家は、好い按梅に窓が有りましたが、其傍の房室を見ますると、前に申す通り一つも窓が有りませぬ。暗黑な處で、晝間でも始終燈火を點けて居る甚だ汚穢い家で有ります。今日でも隨分サウ云ふ家が澤山に在ります。斯樣に「リバプール」では、七万の職工が



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

光線の通入らぬ不健康な家に住つて居る。其死亡の割合はドウかと云ふに實に澤山でありました。右の次第故衛生に從事する人が大層に心配をしまして、家屋巡視を企て、家毎に巡視して惡い處は一々注意して余程改良をしましたので、今日では著しく進歩をして、前に比較すれば殆ど死亡が半分位ゐに減じました。ソコで此「リバプール」に於ける巡視員は何人かと云ふに、「リバプール」全体に就て三十人で有ります。ソレ等の人の盡力の結果は忽ち効が顯はれて、今日では左しもに不潔ありし「リバプール」も英吉利の中の健康なる都府の一つに數へらるゝ樣になりました。又英吉利の「マンチエスター」府と云ふ處は五十三万程の人口が有ッてなか〳〵旺盛なる處で有るが、ソコには婦人の巡視員が有ります。「マンチエスター」も以前は隨分不潔なる處で有ッたが、併し餘程衛生上には熱心なる處で有りました。彼處には貴婦人方の設立せられたる衛生會が有る。此會は詰り我國の婦人衛生會と同性質のもので有ります。此婦人衛生會に於きまして、貧民部落の巡視をいたして居ります。其外此地には別に貧窮なる猶太人の住ッて居る部落を巡視する婦人の會が有ります。其猶太人種の生活の狀態は實に不潔で、恰も支那人の樣で有ります。斯う云ふ人達が住ッて居ッては、自然と惡病惡習が良民の方にまで感染する樣な事が有ッては宜くないと云ふので、貴婦人が一つの會を組織して、貧しき猶太人の居宅を一々巡視致して居ります。而して是等の巡視にてドウ云ふ成績を得たかと云ふに昨年七八九の三ヶ月事務の報告に依れば、婦人の巡視された處はなか

〜澤山に在ります。先づ最初に「マンチエスター」の市街を十七に區域を分ち、其中第一區より第十五區迄を婦人衛生會の受持とし——第十六、第十七の二區を猶太人巡視婦人會の擔當としましたさて昨年七八九の三ヶ月間に婦人の巡視した家屋の數九千七百八十五戸、此家屋は前に屢々申しました通り兼てより不潔にして不健康と云ふ事の知れ渡つたもので有ります。其他特別調査とて右の巡視外に、不時の事で死亡したり、或は特別に變りたる報告が有ると直ちに其家の調査を致します。其特別調査の件數が五百十件有ります。巡視した處の數を細く申しますると、凡そ家百戸に就て二十戸は破壞して居ッて、人間の住う事は出來ない樣な家で有りました。二十二戸は掃除の行届かぬ爲めに不潔で有ッて、同じく住う事が出來ない。二十八戸は前に巡視した時と比較ると、一般に家屋の狀態が余程進歩して、稍人間の住はれる樣になりましたさうで御座います。又た十二戸の家には患者が居りまして、勿論皆醫師の治療を請けることの出來ない人達で有ッたさうであります。斯う云ふ事をば「マンチエスター」の婦人衛生會の事業として盡力されましたので、ソレが大に効を奏したので御座います。(下に右の報告書中の一表を揭げます)又倫敦の婦人衛生會の事業を聽いて見ると、矢張り家屋の巡視を致します。此處では唯家屋を巡視して、其清潔法、或は其他家屋の害に就ての注意の外に、小兒の養育法をば示して歩行ます。是れは大層に利益の有る事で……實に下等なる人民と云ふものはドウしたら小兒の養育が行届くか、サウ云ふ事には一向不馴で有りま



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 英國マンチエスター婦人家屋巡視成績（明治二十七年七八三ヶ月間）

マンチエスター婦人衛生會監督

| 區 | 區内ノ小家屋 | 巡視シタル家屋 特別 | 巡視シタル家屋 尋常 | 巡視シタル家屋百戸ニ付 破潰 | 巡視シタル家屋百戸ニ付 不潔 | 巡視シタル家屋百戸ニ付 前巡視ヨリ進歩 | 巡視シタル家屋百戸ニ付 多人數群居 | 巡視シタル家屋百戸ニ付 患者現存 | 特別報告 | 一年間千人ニ付死亡平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 西アンコ | 一、四三四 | 四九 | 五四三 | 二 | 二四 | 一 | 一 | 二九 | 六二 | 四二、〇 |
| 二 北アンコ | 二、一三七 | 五二 | 六一八 | 六 | 三七 | 二 | 一 | 三 | 三〇 | 三〇、七 |
| 三 中央アンコ | 一、〇三二 | 二 | 六三三 | 八四 | 二八 | 四 | 二 | 一 | 六八 | 三九、二 |
| 四 南アンコ | 一、三九八 | 四六 | 六四七 | 二四 | 二八 | 一五 | 一 | 二 | 六三 | 三二、七 |
| 五 東アンコ | 一、一六六 | 一九 | 六三九 | 八 | 一三 | 六 | — | 二 | 二五 | 二九、二 |
| 六 倫頓路 | 一、八三〇 | 四八 | 六六四 | 七 | 三五 | 一八 | 一 | 五 | 五四 | 三四、〇 |
| 七 ジンス | 一、七〇五 | — | — | — | — | — | — | — | — | 三五、三 |
| 八 東セントジヨージ | 一、四二二 | 四四 | 六六九 | 六 | 三 | 一四 | 四 | 一〇 | 一七 | 二五、一 |
| 九 中セントジヨージ | 一、四三三 | 二四 | 六四四 | 三〇 | 一五 | 四 | — | 四 | 一七 | 三九、二 |
| 十 アンケルシドッ | 一、〇三三 | 三 | 九三六 | 六五 | 四三 | 一〇 | 一 | 三 | 三八 | 五〇、九 |
| 十一 北チヨチルトン | 一、八〇八 | 五四 | 五四七 | 四一 | 一〇 | 四 | 四 | 三 | 二 | 三二、九 |
| 十二 南チヨチルトン | 八九三 | — | — | — | — | — | — | — | — | 二五、四 |
| 十三 西ハルム | 八三〇 | 二五 | 七五六 | 五 | 一九 | 五二 | 三 | 三六 | 四三 | 三四、七 |
| 十四 東ハルム | 一、一三四 | — | — | — | — | — | — | — | — | 三四、八 |
| 十五 中ハルム | 五、三三三 | 一〇五 | 七九五 | — | 二五 | 五 | — | 二 | 一八 | 二八、八 |

貧窮猶太人ノ住屋巡視婦人會

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 七 レッドバンク | 六五七 | ｜ | 一、〇八六 | 一 | 二 | 九六 | ｜ | 三 | 七 | 一七、三 |
| 六 ストレン エッジー | 三九四 | ｜ | 六二八 | 一 | 一 | 九九 | ｜ | 八 | 一 | 一八、五 |

すから、家屋を巡視する序でには、牛乳の飲ませ方、或は養方又食物を小兒に與ふる方法等を直接に指示すのは大層な効能が有ります。殊に婦人が家屋巡視するのと、男子が巡視するのとを比らべると、婦人の巡視の方が却て利益が有らうと思ふ何故なれば、去年九州中國で傳染病の流行した時に巡視しまするにも「サアーベル」を帶びた警部や巡査が往くと人民が厭がりまして、ソレが爲に病氣を隱蔽する樣な事もあるといゝます。婦人なれば些細の事にまでも注意が届き、又巡視を受ける方も、心易く安心して注意を受け、敎へを守る樣になります。殊に小兒の養育法などに就ては、素より婦人の得處で有りますから、是れを以て直ちに貧民に御指示しになつたら、實に莫大の効能が有ります。

「マンチエスター」府の婦人衛生會ではドウ云ふ方法を以て家屋を巡視したかと云ふに、婦人衛生會の貴婦人方が此事を發起し、他の婦人を雇つて巡視さしたのか、或は婦人衛生會員が直ちに實行されたのか、存じませぬが、兎に角に衛生會員たる婦人が率先して、婦人を以て家屋の巡視に當てしめたと云ふのは實際で有ります。日本ではドウであるか、實際行つて効能が有らうか有るまいか、又新ら云ふ方法をば設ける事が出來るか出來ない

か、甚だ六ヶ敷い點で、私は唯今皆樣に斯うなすつたら宜からうと申上げる事は出來ませぬが、御參考までに述べましたので御座います。何故かと云ふに、下等人民程に無遠慮なるものは無い、現に私は驚いた事が有ります。大坂の名護町と云ふ處は、大坂中で最も不潔な處ですが、私は此貧民部落の狀態を見樣と思つて參つた處ろが、なか〳〵お前一人などで參つては酷い目に遇うと言はれて警察官に伴はれて參りました事がありましたが實に此町には惡い風俗があつて、普通の人が人力車などに乘つて通りますると、態と車の前に小兒を放り出して、殊更に負傷をさせ療治代を貰うと云ふ樣な人の惡い事を致します。サウ云ふ處に貴婦人方が御出掛けになるのは甚だ不安心又は、其外に傳染病の恐れが有ります。アヽ云ふ不潔な處には、未だ發見されない腸窒扶斯實扶垤里亞の患者が隨分無いとは云へない故。直接に患者に接すると云ふやうなことはなくとも、病氣の有る近所に參りますると、病毒に感染する事がないともいへず。假令又御當人が病に感じないでも病毒を自宅に持ッて御歸りになる、つまり病毒を患者の家から自宅に傳染するの媒介となる事もありまして、自宅に患者を生ずるやうな事が有りはしないか……是れも一つの考ふべき點で有ります。右の次第ゆへ今日のまゝでは婦人巡視の事も六ヶ敷てとヽ、存じますれども適當の方法さへ設くれば隨分行はれやうと思ひます。さて貧民部落は大坂でなくとも東京にも隨分澤山に在ります。四谷の鮫ヶ橋とか下谷の万年町などは以前は隨分不潔の場所で有りましたが、今日では餘程改良をしまして、

殆ど昔の姿は無くありましたが、併し尚ほ未充分に清潔法が行届いて居ると申す事は出來ませぬ。斯くの如き貧民部落の狀態では有りますが、若しも前に述べたる英吉利などの樣な事になりまして我國にも婦人の巡視員でも出來て參りましたならば、彼等の幸福は幾ばかりなる事かと思ひます。實に彼等の社會を觀まするとヽ未だ乳を飲んで居る幼き小兒に堅い餅を食べさせ、澤庵の古漬などを食べさせて一向頓着しないで居る。サウかと思ひまするとヽ食物なども、夏暑い時分に少々腐敗しかヽッたものを平氣で食べもし、食べさせもして居ります。能く人が一口に衛生の諸事を廣く行うには、多額の費用を要する事故、金に富んだ者は充分に衛生を施行する事が出來るが、貧民には行はれないと云ふ事を申しますが、是れは未だ充分に知らないものヽ言ふ事で有ります。衛生の事業と云ふものは、隨分範圍が擴く有りまして、中には金の多く要かる事も有りますが、金を要しませんで、自分の身體の健康を保護するだけの道は幾らも有ります。一例を申しますれば、家屋の清潔法などは別段に費用を要すべき點は無い、勞働者が少し早く起きて掃洒を丁寧に致しますれば、ソレ一つですら人間の健康上大なる利益が有ります。尚は進んで溝渠の掃洒を致し、椽の下までも奇麗にしたならば、尚ほ一層健康の度を增す割合で有りますから、强ち費用を要さなければ健康を得る事は出來む、衛生を守る事は出來ぬと云ふ事は有りませぬ。又澤庵の古漬や堅い餅は小兒に食べさせる必要は無きのみならず、食べさせないとて費用を要すると云ふ事は無い。斯樣な事をする

のは、下等社會の者ばかりでなく、中等社會の人でも知らず識らず衛生に背いた事をして居らるゝ者が往々御座います。殊に清潔法に至ッては、日本人の特性で有りますから、前に述べたる如き貧窮人は暫く措いて、其他の者は毎朝拭き掃洒は能く致します。掃洒をしまするのは至極宜しいが、不潔な水で掃洒をしてはなんにもならぬ。殊に冬は寒氣の爲めに下婢は一般にわつき湯で拭き掃洒を致します。湯は水より少ないものでありますから、度々換へる事は出來ませぬ。ソレ故始めの中こそ奇麗であれ、終には恰も溝渠泥の樣になッて、厨刀を以て切る事が出來る樣な水になる。此不潔なる而も些かの湯に浸したる雜巾を以て汚穢い水を諸處に塗ッて歩行くのは、丁度ペンキ屋の樣で有ります。ソレ位なら寧ろ拭き掃洒をしない方が遙かに勝ッて居ります。ソレよりか、始めから水が餘り冷めたくない程に湯を入れて拭き、不潔になッたら屢々換へて新らしいぬるま湯で拭きますれば著しく清潔になります、斯くの如く清潔法などは費用を要しませんでも、注意をすれば出來ることで有ります。同じ事をしても注意が無いと、利も害に變じて仕舞ひます。其他傳染病の流行する時に當ては、自分の家に傳染病患者の在ッたときは直ちに知らせ、早く消毒法を施行する樣にし、世間に病氣の在るときは自ら注意して避ける樣にすれば費用を要しませんで免かれしむる事も出來ます。サウして見まするど衛生の仕事と云ふものは必ずしも大いなる費用を要するもので無く、少しも費用を要さないでも、注意をしさへすれば自ら衛生に適して健康を得る事が出來ます。

故に貧民部落の衞生の事も、決して莫大の費用を要しませんでも、注意をすれば、相當の攝生が出來やうと思ひます。今日は先きにも貧民の御話が有りましたが、私も亦貧民部落の景況を陳べました、併ながら今日は未だ貧民と富家との隔てが左程甚だしくは無いが、將來益々社會の事業が進歩するに從ッて、貧富の懸隔が著く、貧民は漸々に殖へて、富者は益々榮へ、貧民は益々窮迫に陷る恐れが有りますから、今日より彼等を救ふ方法を攻じて置きましたならば、多くの公益が有らうと考へます。當婦人衞生會に於きましても、種々實業を御企てになります折には、此婦人巡視員の事なども御參考の一つにならうかと思ひまして、斯く御淸聽を煩はしたる所以で御座います。

## 衞生叢談

### ●征淸戰爭に死せる我兵士の數

昨年七月淸國と戰を開きてより休戰條約の成りしまで殆んど一歳の日月を費し其間大戰あり小鬪あり前後二十餘回に及びたるも我が軍は連戰連勝一回も敗を取らざりしなり是れ世界各國民の驚嘆する所なり然れども尙ほ驚嘆すべきものあり即ち我が軍が斯く長日月の間外域に暴露し斯く屢々戰場を蹈みしにも拘はらず死傷者の極めて少かりしとなり玆に野戰衞生長官部の調査に依り開戰當時より本年四月三十日迄の間に於ける第一、第二兩軍の死者と患者との數を擧ぐれば

患者總數　四萬七千百十八人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | |
|---|---|
| 内 傷者 | 二千九百九十一人 |
| 内 病者 | 四萬四千百三十七人 |
| 死者總數 | 三千二百八十四人 |
| 内 戰死 | 六百二十二人 |
| 内 傷死 | 百七十二人 |
| 内 病死 | 二千四百八十九人 |

なりとす而して病者は多くコレラ患者にして病死者中千三百二十三人までは即ち同病に罹る者なり

## ●男女体格平均調

我國生命保險業の開祖として明治十四年の創設に係る明治生命保險株式會社被保人中健康体の男女子の体格統計を同會社診査醫長醫學士印東玄得氏が多年の經驗により專心取調られたる二三の要項を得たれは左に掲く

| | 男子二万人の平均 | 女子三千人の平均 |
|---|---|---|
| 身長 | 五尺二寸 | 四尺八寸二分 |
| 体重 | 十四貫〇六十七匁 | 十二貫三百四匁 |
| 胸廓の周圍 | 二尺七寸八分 | 二尺六寸一分 |
| 胸廓の前後徑 | 六寸二分 | 五寸九分 |
| 胸廓の横徑 | 八寸三分 | 七寸九分 |
| 活量 | 三千〇十二立方仙迷 | 二千二百八十四立方仙迷 |
| 呼吸の數(一分時間) | 十九 | 二十 |
| 脈搏の數(一分時間) | 七十四 | 七十七 |
| 腹圍 | 二尺四寸一分 | 二尺三寸二分 |

一被保中年齢十五才より六十歳に至る健康体の男女子の体格を調査したるものなり

一健康体とは醫師診察上に於て体格の薄弱固疾輕症其他苟くも疾病と認むべきもの又は遺傳素因制増等あるものを除き單純なるものゝみを撰拔したるものなり

一活量は立方仙迷を以て一位とす

## ●暹羅國の虎列剌

今年の虎列剌病は端を臺灣に發したるが之より南して暹羅國には既に同病流行の徵あり初發より去月二十三日までに土人の之れに斃れたるもの殆ど三千名外國人の死亡十六名ありとの說あり四月二十日發兌の暹羅新聞によれば盤谷府內の死亡者平均每日二十名以上ありと新嘉坡駐在齋藤領事の報告に見ゆ

## ●今年の疫病如何

戰後に疫病流行するは各國其揆を一にする處にして殆んど免かる可からさるの數とも云ふべき次第なるか偖今年の疫病に就ては其筋にても既に十二分の撿疫豫防法を施行するとなれは內地の蔓延は或は差したることには至らざるべきもさりとて決して安心すべきにあらず成程流行地より入來の船舶に對しては撿疫規則により五日間の碇泊を命し乘込人に就ても一々嚴重なる撿疫法を施行するには相違なきも五日間の消毒未た以て完しとすべからざれば注意の上にも注意を加へざるべからずと某醫師は語れり

## ●各地のコレラ

初發より去五月卅一日までに臨時撿疫局に達せしコレラ患者數は

| 府縣名 | 患者 | 死亡 |
|---|---|---|
| 東京府 | 五人 | 一人 |
| 京都府 | 十四人 | 三人 |
| 大坂府 | 九十三人 | 一人 |
| 兵庫縣 | 七十一人 | 卅五人 |
| 奈良縣 | 二人 | なし |
| 島根縣 | 三人 | なし |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | |
|---|---|---|
| 岡山縣 | 十八人 | 五人 |
| 廣島縣 | 二百六十一人 | 四十三人 |
| 山口縣 | 百廿七人 | 五十一人 |
| 和歌山縣 | 三人 | 二人 |
| 香川縣 | 五人 | 三人 |
| 愛媛縣 | 廿人 | 六人 |
| 高知縣 | 十三人 | 一人 |
| 福岡縣 | 九十八人 | 廿六人 |
| 大分縣 | 二人 | なし |
| 熊本縣 | 六人 | 二人 |
| 宮崎縣 | 一人 | 一人 |
| 鹿兒島縣 | 一人 | なし |
| 合計 | 七百三十五人 | 百八十人 |

### ◎看護婦養成の數

警視廳醫務局長山根正次氏の調査せられたる看護婦養成概表を示せば左の如し

| | 看護婦養生の年月日 | 卒業生 | 毎年募集人員ハ | 現今習業中 |
|---|---|---|---|---|
| 慈恵病院 | 十八年十一月ヨリ | 六十四名 | 大凡十五名 | 二十名 |
| 赤十社病院 | 二十三年四月ヨリ | 三十九名 | 二十名 | 四十三名 |
| 大學第一院 | 二十二年十月ヨリ | 百〇五名 | 廿名乃至二十五名 | 不明 |

現在大學第一病院に在るもの七十四是に附屬するもの百名斗

### 自明治廿三年四月至仝廿七年十月赤十字社看護婦養成概表

| 年月 | 募集順序 | 人員 | 摘要 |
|---|---|---|---|
| 廿三年四月 | 第一回 | 十名 | |
| 廿三年十月 | 第二回 | 九名 | 病氣退學壹名 |
| 廿四年十月 | 第三回 | 十二名 | 病氣退學參名 |
| 廿五年四月 | 第四回 | 八名 | 病氣退學壹名 |
| 廿五年十月 | 第五回 | 八名 | 病氣退學壹名 |




Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | | |
|---|---|---|---|
| 廿六年四月 | 第六回 | 八名 | |
| 廿六年十月 | 第七回 | 十一名 | 病ノ故ヲ以テ次回ヘ編入壹名 |
| 廿七年四月 | 第八回 | 十一名 | 事故退學壹名 |
| 廿七年十月 | 第九回 | 十五名 | |

計　八十四名

備考

本表人員總計は摘要中退學及次回へ編入のものは除きたるものあり亦第一回より第五回に係る四十一名は前後學を了りしもの及ひ前期學を修め實地に從事するものにして此内先輩者二十名を出張せしめたり殘余の四十三名即ち第六回より第九回に至るものは現在就學の生徒なりといふ以て看護婦養成の進歩を知るべし

◉肺病患者尤も多し

各保險會社の被保人中死亡尤も多きは肺病患者にして肺結核、肺炎、肺焮、肺勞等にて死せるもの他の死亡率に比して遙かに多數なるのみならず就中結核に罹りて倒るゝもの多きは蓋し該病診察甚だ困難なるが故なるべきも亦屬託醫師の粗漏なる點なしとせずとのことなるを以て近來各保險會社共堅く醫師に注意して打診を誤らざらん樣なし居れる由

◉喇叭の害（小兒の注意）

日清戰爭の初まりし以來各地方とも小兒の喇叭を吹奏することが流行り出し此處でもプー〱彼處でもプー〱軍國少年の遊戲としては結構なれども之れが爲め肺臟を害し遂に肺炎肋膜炎等の病氣を引起すに至る故に小兒には決して大なる喇叭を弄ばしむ可からずとあり

◉天然氷倉庫の封鎖

惡疫流行の兆ある爲めにや其筋にては氷塊の撿査

に注意せられ曩には天然氷塊二万斤を品海に投棄せしか今又府下に於ける倉庫に就て一々撿査の上京橋區、神田區、日本橋區に於て各々一棟の倉庫を封鎖したりといふ

◉臨時陸軍撿疫場の設置

臨時陸軍撿疫所は曩に大坂、宇品、下ノ關の各處に設置せられしも未だ其の撿疫所を設くるに至らざりしが今度大坂撿疫所の撿疫場は櫻島に宇品の同場は似島に下ノ關の同場は彦島に孰れも設置せられ櫻島、似島は六月一日より彦島は同五日より撿疫事務を開始すると云ふ

◉大日本私立衛生會の實地調査

同會は從來審事委員を置き會員の質問に應じ審査答解を爲し來りしが自今更らに一歩を進め衛生上實地の調査に就き東京府下に限り左の需めに應ずる由

一 一家内に於て陸續病災に罹り其原因不明なる時

一 井戸、便所、下水等新築又は改造の際其搆造位置に就き衛生上の調査を要するもの

◉解傭人夫病院の現況

廣島市新錢場町に開設したる解傭人夫救護病院の現況を聞くに目下入院患者は六十名許あり重なる病症は脚氣にして呼吸器病之に次ぎ凍傷患者は最も少數なりと又同院二月二十四日開始の日よりの入院患者總計は百二十二名にして内治療退院者は五十九名死亡五名殘餘の五十八名は即ち猶治療中なりといふ

◉臺灣熱豫防方法

醫學博士三浦守治氏の筆述に係る臺灣熱豫防法適要は左の如しといふ今緊要なるもの故茲に掲ぐる

とゝせり
臺灣熱なるものは全く麻拉里亞と同症なりと云ふ病源は現今(殆ど)滴蟲の一種「プラスモーチーム」なりとの說になり居る。臺灣熱を豫防せむとする者は先づ「臺灣人が如何なる方法に依りて同病の侵襲を免れ居るか」の點に注目すべし。小生等が聞きたる所に據れば臺灣人は(他の支那人と均しく)冷水を飮まず又生物を食せずと云ふ」此等の人が病地に在りて棲居するにも拘らず凡て(或は多く)臺灣熱に感染せずとのことなり。小生等は此關係を熟知せむと欲して未だ得ざるなり。琉球八重山島民も亦(病毒は水に在り)と唱へて冷水を飮み或は河を渉るを忌む。西洋の學者も多く「水に介して病毒は人體中に侵入す」の說に傾きつゝ在るなり、昨年三清守治及び三角恂が八重山群島の風土病麻拉里亞、臺灣熱と同病)地を巡廻したる際(二箇月の永きに亘れり唯水に注意したるのみにして他は勉めて禁忌(戸を開きて寢るべからず晝眠すべからず、着衣を薄くすべからず、矮屋に臥すべからず等)を破り以て成蹟の如何を試みたりしが吾等(三浦、三隅)幸にして全く同病の災を免かれたり知らず僥倖なりしや、否、全く學理に叶ひたるものにてありしならむ。(以下次號)

### ◉大日本婦人衛生會景況

五月四日第一土曜日午後一時より麴町區永田町鹿鳴館に於て常集會を開く會する者凡六十餘名總裁　小松若宮御息所殿下にも御臨場可被在醫學士坪井次郎君の生理解剖の講義寺田勇吉君の演說ありて午後四時頃一同散會せり

# 廣告

◉去月より本月に至る入會轉居者左の如し

◉會長仁禮すが子の紹介により

麻布飯倉片町卅一番地　特別會員　兒玉志那子

芝西ノ久保櫻川町十二番地　特別會員　遠武おと子

麻布仲ノ町十一番地通　通常會員　大井上兼子

麻布永坂町七十一番地　通常會員　朝倉德子

麻布飯倉片町三十一番地　通常會員　水野みね子

◉幹事鳩山春子の紹介により

赤坂青山北町六丁目四十七番地　特別會員　多久ちゑ子

下谷西町三番地　特別會員　海老原つる子

小石川竹早町十九番地　通常會員　武村千佐子

小石川同心町十八番地　通常會員　牧野英子

赤坂氷川町九番地　通常會員　石黑すま子

牛込矢來町四番地　通常會員　高田夫人

◉幹事高木かう子の紹介により

神田駿河臺鈴木町十六番地　賛成員　高田耕安君

仝　通常會員　高田てる子

芝櫻川町十四番地　通常會員　岩野幾世子

◉會員丹治春子の紹介により

四谷新傳馬町壹丁目二十番地　通常會員　田村稙子

相州横須賀町稻岡官舍　通常會員　末川とし子

◉事務所へ申込により

第一醫院　佐井こよ子

神田駿河臺北甲賀町十四番地　通常會員　大澤とよ子

●地方會員中野悅子の紹介により

新潟縣南蒲原郡三條町二ノ町 通常會員 竹中もと子

新潟學校町通二番町 仝 和辻けい子

新潟東仲通一番町 仝 森こと子

●幹事西靜子の紹介により

築地海軍大學校內官舍 通常會員 宇敷かつ子

赤坂新町五丁目三十七番地 仝 石橋ちよ子

●會員前原とめ子の紹介により

牛込東五軒町三十五番地 通常會員 沖ゑい子

●會員小林千代子の紹介により

日本橋元大坂町十三番地 通常會員 後藤はつ子

●會員大石かう子の紹介により

第一醫院 河野しげ子

●會員深尾ひて子の紹介により

第一醫院 河本うめ子

## 轉居

麴町平川町二丁目十七番地へ 清田あい子

神田西小川町二丁目二番地へ 秋間たい子

本郷春木町二丁目四十二番地中村方へ 岩井淺子

本郷新花町九十三番地へ 吉原りやう子

小石川大和町十八番地へ 伴ます子

赤坂檜町三番地へ 大久保きみ子

四谷左門町八十八番地へ 村山つる子

芝田町四丁目七番地へ 磯部そよ子

山口縣赤間關新地町二十一番屋敷へ 勝田久米子

芝櫻川町二番地室方へ 深和ふみ子

麻布新網町二丁目十四番地へ 福地しつ子

四谷東信濃町十番地へ 內山訓子

麴町富士見町五丁目十七番地へ 馬場さた子

北海道函館汐見町二十番地控訴院官舍へ 井原かぞ子

●去る四月懇親會の節寄附せられたる人名左の如し

金壹圓 南部限子

金壹圓 羽田三緒子

# 專賣特許無毒性おしろい廣告

登錄商標

あつまきく粉れしろい

紙袋　三錢　五錢
箱入　拾錢　二拾錢

雪の花（ねりおしろい）　硝子入　六錢
磁器入　十二錢

菊水（みつおしろい）　小瓶　七錢
大瓶　十錢

襟につかず顔あれぬ事妙也

●香水　●香油　●石鹼　●齒磨　●內外優美化粧品類

弊園義開業以來大日本婦人衛生會諸君の殊更に御引立を蒙り今日の隆盛に立至り候段深く御禮申上候鉛毒の如き病患は其跡を絶ち候迄倍々擴張仕候間御友人樣方へ御吹聽被成下度就ては御便利を謀り左の處へ內外高尙優美ある御化粧品一切を特別割引を以て販賣仕候間多少に不限御注文被仰付下度奉願上候端書を以て御注文被下候得は小包郵便亦は手代を以て御屆け可申上候御最寄小間物店各勸工場に賣捌き有之幾久園の無毒性おしろいと御指名の上御求め奉願上候

無毒性おしろい本舖

淺草區下平右衛門町十四番地

幾久園

# 無毒性おしろい大販賣所

## 特約大販賣所

- 日本橋區葺屋町 ゑり善
- 同馬喰町 平尾
- 同橋町 丸善
- 神田區乘物町 回陽堂
- 小石川區金富町 齡龜

- 日本橋區通〃二丁目 資梅堂
- 仝新泉町 義郷堂
- 仝住吉町 豊南堂
- 神田區小川町通 高橋
- 仝小川町寶玉館 鈴木
- 仝小川町通 美好堂
- 仝同東明館 東野
- 仝同 萬屋
- 仝同 山村
- 仝南神保町 若荷屋
- 仝九段勸工場 又原
- 仝同 石垣
- 仝佐久間町 大和屋
- 下谷區池ノ端 守田
- 仝同仲町 金子
- 仝同 佐野屋
- 仝上野廣小路 勸工場
- 仝坂本町 三河屋
- 淺草區諏訪町 百助
- 仝中店共榮館 金井

- 仝同梅園館 大坂屋
- 仝中店左側 新井
- 仝馬道一丁目 百猫
- 仝茅町 井口
- 本郷區三丁目 兼康
- 仝四丁目勸工場 中山
- 仝壹丁目 山本
- 仝壹丁目 勸工場
- 牛込區肴町 益美屋
- 仝同 淺井
- 赤坂區一ツ木町 松下
- 仝同 山口屋
- 仝同 吉野屋
- 仝青山南町 武藏屋
- 仝青山北町 菊地
- 麹町區五丁目 瀧澤
- 仝三丁目 藤田
- 仝十丁目 柏屋
- 仝飯田町 松薬屋
- 仝同 鈴木
- 仝上六番町 幾久の家
- 仝上三番町 吉田屋
- 四ツ谷區傳馬町 白牡丹
- 本所區相生町五丁目 中田屋
- 仝千歳町 東西屋
- 仝外手町 上野屋
- 京橋區出雲町六番地 川口屋
- 仝南傳馬町 小山

- 仝銀座竹川町 丸屋
- 仝同 美濃屋
- 仝同四丁目 一洗堂
- 仝銀座 南谷勸工場
- 仝同 ㊉勸工場
- 仝同 (吉)勸工場
- 芝區公園勸工場 齋藤
- 仝神明前 武藏屋
- 仝仝 秋本
- 仝宇田川横町 丁子屋
- 仝宇田川町 富士屋
- 仝源助町橋際 柎の屋
- 仝愛宕下町 勸業場
- 仝南品川 美濃屋
- 麻布鳥居坂町 寶屋

## 各地特約販賣店

- 大坂心齋橋筋鹽町 東京屋
- 大坂南久寶寺町三丁目 小間物卸商 寺澤
- 仙臺市國分町 菅野
- 横濱野毛町 四ツ目屋
- 仝伊勢崎町 四ツ目屋
- 桑名船清町 佐藤
- 長崎本石灰町 菊水商店
- 京都新京極 小川
- 神戸太閤通〃二丁目 西川
- 岩代福島九丁目 金澤

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ随て社會全般の幸福を増進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し
　但本會事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て終身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす
　但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し
　但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身賛成會員(無會費)とすること有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く
　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず
　但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る
　但幹事の分課を設けて　第一　會計　第二　書記編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　毎會學識經驗ある者を聘し講義演説を囑し本會々員の演説と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し毎月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす
　但し演説の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　講義演説の際男子の傍聽を禁ず
　但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす
　但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

務所に引出置を得

第十九條　會計の收支は總て會計課幹事の撿印を要す

第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝状を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し
但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割増とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條　每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す
但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すとを得

第廿四條　每年三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍内に於て役員の評議を以て其細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支會を設くることを得
但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條　會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

第廿九條　入會後轉居する者は速に事務所に通知ある可し尤も死去の節は親戚知友等より通知ある可し

第三十條　退會せんとする者は會員證を添へて其旨事務所へ報知あるべし

明治二十五年九月

東京下谷區練塀町四十三番地

私立　大日本婦人衛生會

明治廿八年六月五日印刷
明治廿八年六月七日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中徳三郎
印刷者　同　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可　第一金曜日發行

（定價金拾錢）